

医療安全対策部

1. スタッフ（平成27年4月1日現在）

部長（医師）	新保 昌久（専任）
副部長（医師）	南 孝臣（兼務）
副部長（医師）	佐久間康成（兼務）
副部長（医師）	○市田 勝（兼務）
副部長（看護師）	○上野 久子（兼務）
看護師	○竹野井さとみ（専従）
看護師	○野澤 博子（専従）
看護師	○篠原 和子（専任）
教授	河野龍太郎（兼務）
講師	鈴木 義彦（兼務）
医師	小林 高久（兼務）
医師	柳澤 智彦（兼務）
助教	浅田 義和（兼務）
医師	笹沼 秀幸（兼務）
医師	法月正太郎（兼務）
薬剤師	須藤 俊明（兼務）
臨床工学技士	進藤 靖夫（兼務）
薬剤師	中澤 寛仁（兼務）
事務	6名

○ 医療安全管理者

2. 医療安全対策部の特徴

附属病院で発生する医療安全上の諸問題について組織横断的に対応する為に、平成15年に医療安全対策室が設置された。医療安全対策室は病院長直轄組織として、専任の看護師や事務職員を配置し、院内で発生する種々の問題に対応する。具体的には院内報告制度の整備、職員教育機会の提供、事例分析、院内巡視、有害事象後の対応などの活動を行ってきた。しかしながら、医療安全問題に対するニーズは社会的にも非常に高まっており、医療安全対策室の業務内容も、多様でかつ増加の一途を辿っている。

平成16年に医療安全対策室を医療安全対策部として組織改編を行い、毎年更なる活動の充実を図っている。

医療安全・患者安全を確保する為には、附属病院内の安全文化の醸成が重要である。これは職員の意識と行動を変えていくことであり、毎日の粘り強い努力の結果として達成できるものだと考えている。医療安全対策部では、附属病院職員が安全で質の高い医療を提供することで、患者・職員双方にとって信頼のできる病院となるような環境作りを目指している。

3. 実績・クリニカルインディケーター

●業務内容

- （1）医療安全に関する情報収集、分析、改善策の立案、周知、評価
- （2）医療安全対策の提案・情報提供（啓発活動）
- （3）職員に対する教育（講演会、研修会の開催）
- （4）紛争事例への対応（経営管理課、医療福祉相談室と連携）

●平成26年のおもな活動実績

- （1）医療安全策講演会（全職員対象）

①安全塾

・開催日 2月10日

演 題 「安全と効率を向上させる病院5S活動」
メディカルシミュレーションセンター

河野龍太郎

参加者 413名

②医療安全対策講演会

・開催日 5月21日

演 題 「安全対策の落とし穴～思い込みの罠～」
電気通信大学 田中 健次

参加者 939名

③安全塾

・開催日 6月26日

演 題 「ノンテクニカルスキル (1)」

医療安全対策部 長谷川 剛

参加者 1,007名

④安全塾

・開催日 9月26日

演 題 「ノンテクニカルスキル (2)」

医療安全対策部 長谷川 剛

参加者 850名

⑤医療安全対策講演会

・開催日 10月17日

演 題 「人に頼る安全：ヒューマンファクターズのアプローチとテクニック」

早稲田大学 小松原明哲

参加者 595名

⑥医療安全・感染合同講演会

・開催日 11月5日

11月11日（DVD上映会）

11月14日（DVD上映会）

演 題 「2014年度の事例から気になる点」

医療安全対策部 市田 勝

「第一種感染症医療機関の役割」

感染制御部 森澤 雄司

参加者 1,561名

(2) 医療安全に関する主な検討会・勉強会

- 1月・AED研修会
 - ・体温管理システムAirticSun勉強会
- 2月・AED研修会
 - ・研修医講演会
- 4月・新人職員オリエンテーション
 - ・新人研修医研修会
 - ・新人研修医シミュレーション研修
 - ・新人研修医演習
 - ・新人研修医CV研修会
 - ・新人看護師研修会
 - ・中途採用者・復職者対象講演会
- 5月・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 6月・AED研修会
- 11月・AED研修会
 - ・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 12月・AED研修会
 - ・血糖測定器変更に伴う勉強会

(3) 医療安全に関する主な技術研修

- ①中心静脈カテーテル挿入
- ②レジデントオリエンテーション
 - 点滴・採血等の演習
 - 医療安全に関する講義
 - 輸液・シリンジポンプの使い方
- ③新人看護師研修会
 - インスリン 輸液・シリンジポンプ
- ④エコー下中心静脈カテーテル挿入
- ⑤心肺蘇生・AED研修
 - (新人・フォローアップ)

(4) 医療安全管理指針、マニュアル改正等

- ①医療安全管理指針(一部改正)
- ②リスクマネジメントマニュアル
 - (ポケット版) 第5版

(5) あんぜん便り・安全情報

- ①禁忌薬剤の投与
- ②シリンジポンプの取り違い
- ③硬膜外カテーテル操作時の注意について
- ④経鼻栄養チューブ取扱い時の注意について
- ⑤胃瘻チューブ取扱い時のリスク
- ⑥はさみによるカテーテルチューブの誤切断
- ⑦人工呼吸器の配管の接続忘れ
- ⑧腫瘍用薬のレジメンの接続忘れ
- ⑨MRI検査室への磁性体持ち込み
- ⑩医薬品処方オーダー時の選択間違い

- ⑪静脈留置針操作時の注意について
- ⑫硬膜外カテーテル注意事項【抜去時】
- ⑬リチウム電池と金属の接触によるショート事故

(6) J-CIP (インシデント・アクシデント報告システム)

- ①「研修管理」の利用・改修
- ②e-ラーニング「楽々てすと君」の利用・改修
- ③事象分析システムの内容改修

(7) 検討、改善事項等

- ①産科薬剤取り違い調剤事例について
- ②放射線領域の医療安全対策のために
- ③CTガイド下生検後出血を起こし死亡した事例
- ④透析のモード違いの事例
- ⑤腹腔ドレーン抜去後出血による再手術の事例

(8) 医療安全対策委員会(委員17名)

毎月1回 第2火曜日

(9) リスクマネージャー会議

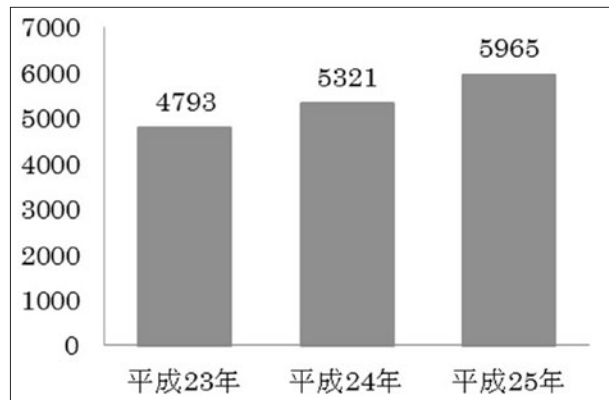
隔月1回 第3木曜日

(10) モーニングカンファレンス

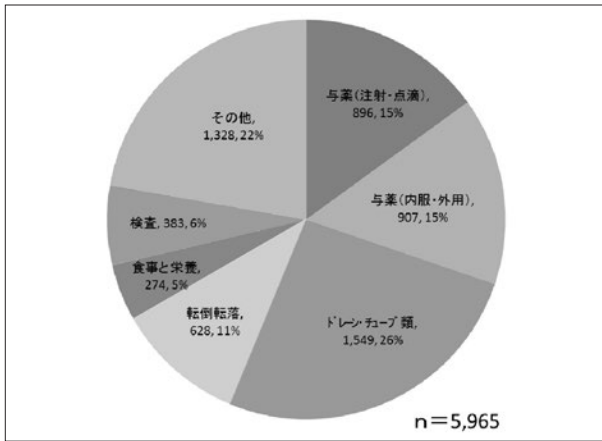
毎週水曜日

(11) インシデント・アクシデントレポート

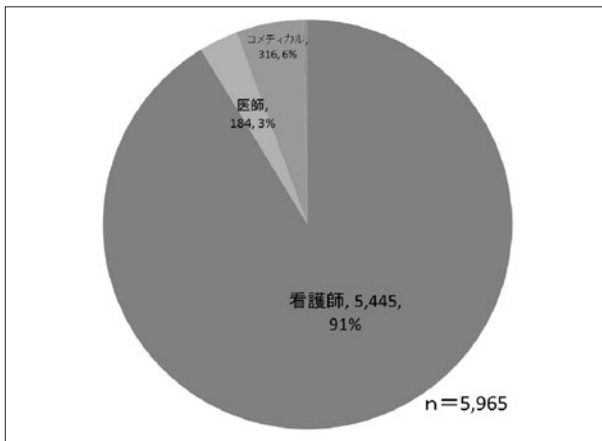
- ①報告件数比較
 - (平成23年～25年)



②平成25年 種類別報告一覧



③平成25年 職種別報告一覧



(12) 医療機能評価機構患者安全推進協議会との連携

- ・事例報告
- ・研修会の参加

(13) 社会、他の医療機関等に対する貢献

- ・講師として患者安全・医療安全・医療の質に関する情報の提供

4. その他・来年の目標

従来の業務に加え来年は以下の諸事項を目標としている。

- ①事故発生時の対応の教育
- ②医療コンフリクト・マネジメントの普及
- ③ヒューマンファクターズアプローチの普及
- ④医療の質向上のための情報収集と情報還元の制度作り
- ⑤医療の質向上のための体制整備
- ⑥マニュアルの整備と管理の検討
- ⑦新5S活動の推進
- ⑧e-ラーニングを取り入れた教育

これらの目標達成へ向けての努力と並行して、病院内での横断的なコミュニケーションが円滑に進むように支援していきたいと考えている。